

令和7年 第156回 12月定例会
一般質問

(13人中1番から7番)

順序	質問議員	質問項目
1	東垣 典雄	1. 農林業センサス（速報値）自営農業を主な仕事とする「基幹的農業従事者」前回調査と比べ25.1%減、本町としてどう捉えるかを問う。 2. 獣害対策について問う。
2	見塚 修	いのちとくらしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて（Part3） (いのちとくらしを守る) 1. 令和8年度予算編成に臨む各施策について伺う。 (くらしを守る) 2. 大雪からくらしを守る施策について伺う。
3	藤井 昌彦	1. 畜産振興について 2. 物価高騰対策について
4	村田 行信	1. 第三次総合計画における数値目標（KPI）削除と行政評価の在り方について 2. デジタル田園都市国家構想の記載と、行政実務（紙ベース）との整合性について 3. 町長が示された未来像と、第三次総合計画の整合性・活用方針について
5	松岡 大悟	1. 地域通貨（デジタル地域通貨・デジタル商品券・地域ポイント）の活用について問う。
6	中村 崇志	1. 不法投棄の現状把握・対策について問う。 2. 香住区小学校一次・二次再編に伴う、[体験的な「ふるさと教育」の推進]への影響について問う。 3. 観光産業 本町の位置付けについて問う。
7	山本 賢司	1. 第3次町総合計画は何も変えない。町長の決意表明か。 2. 町過疎地域持続的発展計画は、財源がないからできないとならないか。 3. “介護の社会化”から“介護の家庭化”では現役世代も大変になる！ 4. 八鹿病院の人勧実施のため、構成市町は財源支援をすべき。

令和7年 第156回 12月定例会
一般質問

(13人中8番から13番)

順序	質問議員	質問項目
8	山根 典明	1. 家庭の火災報知器稼働していますか? 2. 防災無線の再検討 3. 健康寿命の延伸を目指した肺炎予防について
9	脇坂 英作	1. 女性の検診における受診率向上と受診しやすい環境づくりについて 2. 地域農業の未来を支える農地・資産の見える化について
10	森浦 繁	1. クマの出没・被害対策について問う。 2. 各集落の集会所の修繕、または建て替えの補助金のあり方について問う。 3. 町民・観光客の交通利便の向上と観光誘客について問う。 4. 海外への修学旅行実現の取り組みと旅費高騰対策について問う。
11	伊藤 敦紀	1. 職員の定着と安心して働ける環境づくりについて
12	西谷 尚	1. 香美町の観光振興について問う。
13	谷口 真治	1. 物価高から町民のくらしを守る対策について問う。 2. 「非核3原則」見直しの検討について問う。 3. 子育て支援のさらなる拡充について問う。 4. 香住区小学校等第2次再編について問う。

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 東垣 典雄

No.1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 農林業センサス（速報値） 自営農業を主な仕事とする「基幹的農業従事者」前回調査と比べ25.1%減、本町としてどう捉えるかを問う。	<p>11月28日農林水産省が2025年の「農林業センサス」（速報値）を発表されました。</p> <p>自営農業を主な仕事とする「基幹的農業従事者」は、前回（2020年）と比べて25.1%減少しているとのこと、本町としてどう捉えるか伺う。</p> <p>1. 本町の、「基幹的農業従事者」は減少しているか、また「第3次香美町総合計画」にある自給的農家戸数は2020年度に677人となっているが2025年は。</p> <p>2. 農地の集約による規模拡大の現状は。</p> <p>3. 農地中間管理機構（農地バンク）の取り組みは。</p> <p>4. 多面的機能發揮促進事業（多面的機能支払交付金）（中山間地域等直接支払交付金）（環境保全型農業直接支払交付金）への取り組みは。</p>	町長
2. 獣害対策について問う。	<p>ツキノワグマやヒグマによる人的被害が東北や北海道で相次ぎ、深刻な問題になっています。</p> <p>本町での現状と対策を伺う。</p> <p>1. クマによる被害状況は。</p> <p>2. クマの出没状況数などからの推定生息数は。</p> <p>3. クマを寄せ付けない対策は。</p> <p>4. 災害に強い森づくり（野生動物共生林整備）（針葉樹林と広葉樹林の混交整備）（住民参画型森林整備）の進捗状況は。</p> <p>5. クマの緊急銃猟の体制はできているか。</p> <p>6. ガバメントハンターの養成は。</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 見塚 修

No.2

質問項目	質問事項	質問の相手
いのちとくらしを守り、住んでよかったですと思えるまちづくりを求めて(Part 3) (いのちとくらしを守る) 1. 令和8年度予算編成に臨む各施策について伺う。	<p>国は物価高対応・経済対策で前年を大きく上回る規模で今国会で補正予算案の成立を目指している。これを受けた本町の補正予算はいつ、どうなるのでしょうか。</p> <p>又同時に例年この時期は、翌年度の予算の編成作業に取り組まれていると思う。</p> <p>よって、令和8年度の施策</p> <p>(1) 基本方針について (2) 活力施策 (産業振興、人口減対策、少子化対策等) (3) 安心・安全施策 (防災対策、インフラ整備、医療対策、福祉・健康施策等) (4) 教育施策 (学校再編、廃校利用、不登校、いじめ対策等) (5) その他</p> <p>以上伺う。</p>	町長 教育長
(くらしを守る) 2. 大雪からくらしを守る施策について伺う。	<p>人口減、高齢化等から大雪対応は毎年きびしさを増している感がある。</p> <p>よって、次のことを伺う。</p> <p>(1) 道路交通の確保 同時に除雪作業員の確保対策 (2) JRの定時運行の確保 (3) その他インフラの安定確保</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 藤井 昌彦

No.3

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 畜産振興について	<p>前回の私の一般質問で畜産農家の支援について町長に質問した。</p> <p>あれから町長は10月31日にイタリアローマにおいて「美方の伝統的但馬牛飼育」が世界農業遺産認定され、その証授与式に香美町、新温泉町、県、JAたじまなどでつくる「美方郡産但馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会の副会長として参加された報道があった。</p> <p>私も一町民としてうれしくこの地域に住んでいることが誇らしいと強く思いました。</p> <p>あらためて町長の畜産に対する考え方を問い合わせたい。</p> <p>① 認定書を受けた率直な感想は ② 世界的評価を受けた但馬牛の魅力をどう生かすか。日本の黒毛和牛種の99.9%の発祥地の首長としての考え方を伺う ③ 今後について</p>	町 長
2. 物価高騰対策について	<p>物価高騰対策で政府が「重点支援地方交付金」をだして推奨する「お米券」や「食品クーポン券」の運用は、各自治体に委ねられること。12月初旬から担当省が説明していくこと。</p> <p>町としての基本姿勢を伺う。</p> <p>① 町として導入する考えなのか、そうでないのか。</p>	町 長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 村田 行信

No.4

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 第三次総合計画における数値目標（KPI）削除と行政評価の在り方について	<p>第三次総合計画では第二次で示されていた数値目標が削除され、町民にとって施策の進捗が見えにくくなる懸念があります。</p> <p>総合計画は行政のPDCAを共有する重要な道具であり、透明性の確保が必要だと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、数値目標を設定しなかった理由を伺う。 ・数値目標が無い中で、行政評価・PDCAの成果をどのように町民へ示していくのか伺う。 	町長
2. デジタル田園都市国家構想の記載と、行政実務（紙ベース）との整合性について	<p>総合計画ではデジタル化が重点方針として示されている一方、実務では依然として紙ベースを中心の業務が残っています。</p> <p>構想の実効性を高めるためには、デジタル化への転換が欠かせないと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町として、デジタル化の優先領域をどのように捉えているのか伺う。 ・紙ベース中心の運用をどのように見直していく方針か伺う。 	町長
3. 町長が示された未来像と、第三次総合計画の整合性・活用方針について	<p>9月議会で町長が語られた未来像は、町民にとって極めて重要な方向性です。</p> <p>しかし、その内容が第三次総合計画にどこまで反映されているかは明確ではありません。</p> <p>行政運営の軸として、町長の描く未来像と計画の位置づけを確認したいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長の未来像が第三次総合計画のどこにどのように反映されているか伺う。 ・町長は第三次総合計画を行政運営の中でどのような“指針”として活用されるのか伺う。 	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 松岡 大悟

No.5

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 地域通貨（デジタル地域通貨・デジタル商品券・地域ポイント）の活用について問う。	<p>デジタル化（スマホ・QR決済など）の普及により、従来の「紙の地域通貨、商品券」と比べて導入・維持のコストや運用のハードルが下がっている。</p> <p>単なる「お買い物の手段」ではなく、「地域経済の循環」「地域活性化」「地域DX」「住民参加・コミュニティづくり」という側面もあると言われて、全国各地多くの自治体でも導入されている。</p> <p>そこで以下の質問です。</p> <p>(1)デジタル地域通貨・地域ポイントの町民ニーズをどのように捉えているか。</p> <p>(2)今後物価高騰対策支援等の商品券政策を行う際、デジタル商品券の導入は考えているか。</p> <p>(3)兵庫県が県内市町と連携して地域通貨の取り組みを行っているが、香美町はどう連携するのか。</p> <p>町長の所見を伺います。</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 中村 崇志

No.6—1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 不法投棄の現状把握・対策について問う。	<p>不法投棄は景観を乱す以外にも、環境・社会・経済に深刻な影響を与える。本町も2013年（平成25年）に香美町環境美化推進隊を結成し、町内をパトロール、不法投棄の監視、ごみの回収を行っていただいている。</p> <p>① 環境美化推進隊や住民等から報告・通報を受けた際、当局の対応方法について伺う。</p> <p>② 本町における、不法投棄の現状・対策について伺う。</p>	町長
2. 香住区小学校一次・二次再編に伴う、[体験的な「ふるさと教育」の推進]への影響について問う。	<p>「令和7年度 香美町教育の重点」（9ページ）記載の〔(4) 体験的な「ふるさと教育」の推進〕について。各小学校独自の計画や取り組みが段階的、継続的に地域の協力も得ながら実行されている。</p> <p>① 一次再編の対象だった、佐津・奥佐津小学校は各校どのような「ふるさと教育」を実行していたのかについて伺う。</p> <p>② 香住小学校へ再編後は①の各取り組みはどうなったのかについて伺う。</p> <p>③ 二次再編の対象である、柴山・長井・余部小学校は各校どのような「ふるさと教育」を実行しているのかについて伺う。</p> <p>④ 二次再編でいよいよ6校が1校になり校区も拡大する。今後の「ふるさと教育」の推進はどうやっていくのか伺う。</p>	教育長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 中村 崇志

No.6—2

質問項目	質問事項	質問の相手
3. 観光産業 本町の位置付け について問う。	<p>人口減少・地域の疲弊が進む中、観光は地域を支える基幹産業ではないだろうか。しかし、「香美町観光振興計画」策定後も日帰り依存や季節偏重により経済効果が低下しているのが現状ではないかと感じる。</p> <p>① 「香美町観光振興計画」に基づき計画的に実施できているかについて伺う。</p> <p>② 当局は、観光が地域経済へ与える波及効果をどのように定量的に把握しているかについて伺う。</p> <p>③ 観光の担い手不足対策について伺う。</p> <p>④ 「観光関係者」「観光協会」「行政」の3者が役割を理解し、お客様のニーズを的確に捉えながら目標を設定し観光振興に取り組めているか伺う。</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 山本 賢司

No.7-1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 第3次町総合計画は何も変えない。町長の決意表明か。	<p>第2次町総合計画策定には町民が参加した。第3次町総合計画は有限責任監査法人トーマツに2年に渡り、15,950千円の委託料。町民はどれだけ参加しているのか？</p> <p>第2次と第3次とでは、主要施策の指標、項目が異なり、連續性が見えないのだが何故か？</p> <p>区制、地域協議会というこの町の合併のつくりを活かしていくのか？</p>	町長
2. 町過疎地域持続的発展計画は、財源がないからできないとならないか。	<p>過疎債には限度があろう。ハード事業は年次含めてローリングがありうるのは承知している。</p> <p>課題は、特別事業、過疎ソフトと言われる部分。ほぼすべての事業を計画に入れ込んでいる。過去の実績等を見ると、R6年度 15事業 154,300千円、R7年度見込み 16事業 152,400千円、R8年度見込み 144,500千円とされており、実績でふるさと納税が充当されていて、“計画したが財源が”とならないか？上げている事業の発展、拡充はあるか？</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 山本 賢司

No.7-2

質問項目	質問事項	質問の相手
3. “介護の社会化”から“介護の家庭化”では現役世代も大変になる！	<p>“介護の社会化”と宣伝された介護保険制度。30年前50～60代は「親は見る。自分たちは？」とついぶん論じた。“保険料を納めれば、必要な時1割負担でサービスを受けられる”とされて、ホッとした。それから26年、3年毎の見直し“制度の持続性”などと言って、サービスは低下、負担は増と国が国民をだます連続ではないか。町長はこれに与するのか？</p> <p>低年金の中、サービス利用が圧迫されれば、現役世代に負担がかかるのだが、どう考えるか？</p>	町長
4. 八鹿病院の人勧実施のため構成市町は財源支援をすべき。	<p>“病院があぶない”とマスコミで取り上げられる。医師が、看護師が足りない、紹介状がないと別料金、1床減らすと数百万円、病院再編などとプランづくりに明け暮れている。病院にとって医療スタッフは宝物。</p> <p>香住病院は繰入金を増やして人勧実施。ところが八鹿病院は市町の支援が得られず実施できないと。これでは人材を追い出し、病院を潰すようなもの。</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 山根 典明

No.8—1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 家庭の火災報知器稼働していますか？	<p>消防法において住宅火災警報器の設置基準は義務づけられています。2006年以降の新築住宅が対象になった後、2011年以降は全市区町村で設置が義務づけられました。大体の火災報知器の電池の寿命は10年です。</p> <p>先般2個（1階・2階）の内 1個が寿命で鳴っていない事に気づき買い換えに2,000円掛かりました。</p> <p>①どこの家庭も設置しているから大丈夫と過信していませんか？</p> <p>②更に罰則規定が無いからと設置していない家庭はありませんか？</p> <p>先般の香港での火災の中で9階から脱出出来た方のコメントで「警報器が鳴らなかった」「白い煙があっておかしいと思いエレベーターでは無く階段で逃げた」と言っていました。</p> <p>元々警報器が設置していなかったかは別にして、もし一斉に警報が鳴っていれば159人の犠牲者は出なかったのではと痛感しました。</p> <p>2011年当時審議されたかは確認していませんが10年以上たった今、取り替えに掛かる費用または新たに設置する方の費用を町が補助してあげられないでしょうか？</p>	町 長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 山根 典明

No.8-2

質問項目	質問事項	質問の相手
2. 防災無線の再検討	<p>先般地元の女性から防災無線の不具合の件で質問が有りました。又どこに尋ねたら良いか？等質問があり設置した当初のことは記憶がないので多分20年近く経過しているとおもわれますが、</p> <p>①全ての家庭で聞き取れているでしょうか？ ②もし故障の場合の費用負担は？</p> <p>先般総務民生常任委員会での外部視察で倉吉市の防災拠点での説明の際、倉吉市独自の「防災アプリ」の説明が有りました。将来的には携帯電話での防災アプリ対応も検討すべきでは？</p>	町長
2. 健康寿命の延伸を目指した肺炎予防について	<p>高齢者の肺炎予防についてお伺いします。インフルエンザウイルス・新型コロナウイルス・肺炎球菌は治療薬が有るのに対しRSウイルス感染症はワクチンしかない状況。</p> <p>公費助成を導入する考えはありませんか。</p> <p>本年6月の定例会で「新たなワクチン接種への町独自の取り組みは難しいと考えます」と発言頂いた。町長の考えはその後変わらないかをお伺いしたい。</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 脇坂 英作

No.9—1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 女性の検診における受診率向上と受診しやすい環境づくりについて	<p>本町における健康寿命の延伸と、健康増進を図るためにには、町ぐるみ総合検診および女性の検診における受診率の向上が重要であると考える。</p> <p>本年度の女性の検診は、奇数年生まれの20歳以上の方が主な対象となっており、対象者のうち受診された方の割合は、子宮頸がん検診約16%、乳がん検診（エコー）約19%、40歳以上が対象の乳がん検診（マンモグラフィー）でも約20%と、平日実施の検診としては一定の受診が得られているものの、健康増進の観点からみれば十分高いとは言えない。</p> <p>特に子宮頸がんは、20代から30代の発症の増加が指摘されており、若年層での早期発見の重要性が高まっている。今後、受診しやすい環境づくりや周知方法の改善など、受診率向上に向けた取組の充実が求められる。</p> <p>以上を踏まえ、次の点を伺う。</p> <p>①女性の検診の受診率を高める為、どのような取組を行ってきたのか。</p> <p>②申込みを行ったが受診に至らなかった方に対し、どのような対応を行っているか。</p> <p>③日程設定や周知方法、受診機会の確保など、受診しやすい環境づくりの観点から、今後どのような改善策を検討しているか。</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 脇坂 英作

No.9—2

質問項目	質問事項	質問の相手
2. 地域農業の未来を支える農地・資産の見える化について	<p>本町では、離農や耕作放棄地の増加が進む一方、希望条件に合う農地の確保が難しく、補助制度の要件を満たす負担など、新規就農者には多くのハードルがある。地域の農業規模を維持し担い手を確保するためには、農地や農業資産の円滑な承継やマッチングを支える仕組みが求められる。</p> <p>しかし、中間管理機構による農地バンクは情報の可視化が行われておらず、希望者とのマッチングが必ずしも円滑とは言えない。</p> <p>これに対し、鹿児島市では、面積・接道状況・希望条件・写真などを公開する「遊休農地バンク」により、年間3~4件、多い年で7件のマッチングが成立している。情報を事前に把握できることが円滑なマッチングにつながっている。</p> <p>さらに、鹿屋市の「農業未来バンク」では、離農者（離農予定者を含む）の畜舎・ハウス・農機等を公開し、掲載15件中6件がバンク内で成約するなど、農業資産の“見える化”的効果が確認されている。</p> <p>また、農業資産の引継ぎでは、一般的に、離農者が機械の扱い方や管理方法を伝える機会が生まれることも多く、技術的支援や関係構築につながる場合がある。こうした点も、情報公開により町内でマッチングする仕組みが持つ効果と言える。</p> <p>本町においても、農地・農業資産を整理・公開し、所有者と希望者をつなぐ「香美町版農地・農業資産バンク」を創設することは、新規就農促進、耕作放棄地抑制、離農予定者からの事業承継・技術継承の観点から有効であり、地域農業の維持・発展に寄与すると考える。</p> <p>そこで以下の点を伺う。（次ページへ）</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 脇坂 英作

No. 9-3

質問項目	質問事項	質問の相手
	<p>① 遊休農地(耕作放棄地)について、本町では現状どの程度把握できているか。</p> <p>② 本町の産業規模を維持する上で、新規就農および事業承継が必要であるという認識を町長は持っているか。</p> <p>③ 空き家バンクの農業版ともいえる、農地や農業資産を公開し、所有者と希望者をつなぐ仕組みについてその導入の必要性を、本町はどのように捉えているか。</p>	

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 森浦 繁

No. 10-1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. クマの出没・被害対策について問う。	<p>クマの被害が各地で起きています。死者が多く出ています。香美町においてもクマの出没情報があります。町民の安全安心な生活確保のためどのように対策をとって行くのか伺う。</p> <p>①緊急銃猟について ②緊急時における猟友会等との連絡体制について ③猟友会等への講習会・訓練の現状と今後の対策について</p>	町長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. 各集落の集会所の修繕または、建て替えの補助金のあり方について問う。	多くの地区で集会所等の修繕工事及び建て替え工事が必要な時期となっています。今の制度では、建て替えの場合、補助金は2分の1ですが、小集落では、1軒あたりの負担金が大変です。集会所は、多くの集落で避難所として利用されています。防災対策として集会所の維持のために補助制度の抜本改善が必要ではないですか。	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 森浦 繁

No.10-2

質問項目	質問事項	質問の相手
3. 町民・観光客の交通利便の向上と観光誘客について問う。	<p>令和6年6月定例会でも上げましたが、9時台のJR減便により、観光客・宿泊客はもちろん、町民が京阪神方面へ向かう際にも大きな空白時間が生じております。</p> <p>(1) 10月末にJR西日本兵庫支社へ要望に行かれたと思います。</p> <p>①その際に提示された要望内容</p> <p>②近隣市町の各首長との意見交換の状況や共通認識</p> <p>③JR側の対応や反応、現場の雰囲気として感じられたことについて伺う。</p> <p>(2) 現在9時台が空白となっている時間帯に、姫路駅へ直通する高速バス路線の新設を交通事業者と連携し、新規路線の協議を進めてみてはどうかと考えますが伺う。</p> <p>(3) 観光施策として現在、ひょうご五国周遊ツアーア助成をはじめ、近隣市町でも自治体内を周遊するツアーハの補助制度を設け、誘客を図っている事例がありますが、香美町として、観光事業者と連携しながら、独自の助成制度を創設し、日帰りでも香美町を知って、見て、興味を持って頂けるツアーハを促進する取り組みを検討する考えについて伺う。</p>	町長
4. 海外への修学旅行実現の取り組みと旅費高騰対策について問う。	<p>(1) この春の町長選挙において、町長は「子供たちを海外へ修学旅行に行かせてあげたい」との思いを示されました。まず、その実現に向けた具体的な取り組み状況について伺う。</p> <p>(2) 現在の修学旅行では、宿泊費・交通費・入場料など、さまざまな費用が高騰しております。については、保護者の標準負担額を上回る部分を町費で補填すること、またはコロナ禍で行われたような高騰分の差額補助を再度実施することはできないか、伺う。</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 伊藤 敦紀

No. 1 1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 職員の定着と安心して働ける環境づくりについて	<p>9月定例会において、町長は「離職は個々の判断であり引き止めは行わない」と答弁されたところであり、職員一人ひとりの意思を尊重されている姿勢だと受け止めている。一方で、本町が策定中の第三次総合計画（素案）では「離職率を低くし、職員の定着を図ることを行政の方向性として掲げており、組織として職員が長く働き続けられる環境づくりを目指しているものと理解している。</p> <p>離職が個々の判断であることに変わりはないものの、その背景には“業務量の偏り”や“人員配置のばらつき”といった構造的な要因が潜んでいる可能性も考えられる。こうした要因に目を向けることができれば、離職率の低減や病休の抑制にもつながり、結果として定着促進に寄与するのではないかと感じている。</p> <p>以上を踏まえ、現状と今後の方向性について伺う。</p> <p>① 離職は個々の判断であるとしても、その背景にある構造的要因を把握し改善を図ることが、結果として離職率の低減と職員の定着につながると考えるが、町長の認識を伺う。</p> <p>② 「離職率の低減」「定着の促進」の実現に向けては、構造的要因を把握し改善につなげていくための仕組みが必要だと考える。業務量・人員配置等の偏りを定期的に可視化し、改善に生かす仕組み作りをどのように位置付けているか伺う。</p>	町 長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 西谷 尚

№.12

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 香美町の観光振興について問う。	<p>今後の香美町の観光振興をどのように考えるか伺う。</p> <p>本町の観光入込者数を見てみると 2006 年 (H18) 1,469 千人をピークに 2025 年 (R6) 1,083 千人と減少を続けている。</p> <p>この間、厳しい暖冬やコロナ感染症・諸物価の高騰などの影響も観光入込者数に大きな影響を与えた要因となっている。</p> <p>そこで以下の内容と、香美町における観光全般の取り組みについてお伺いします。</p> <p>1. 今までの取り組みを振り返り観光振興取り組みの成果と難しさに付いて伺う。</p> <p>2. 本町観光においては、観光商工課と 3 区の香美町香住・村岡・小代の観光協会の連携が重要であると感じておられると思いますが、10 年以上経つが未だに 1 つの観光協会となっていない。</p> <p>今後の観光連携の取り組みと、どのように進めて行くのかに付いてのお考えを伺う。また、新たな形もあるのか伺います。</p> <p>3. 将来の観光を見据えた取り組みについて伺う。</p> <p>今までの観光の取り組みを見据えた中で、今までの取り組みとは違う新たな時代に合わせた取り組みが必要と考える。</p> <p>そこで、観光アプリ等の活用は必携だと思うが町長はどのようにお考えか。</p>	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 谷口 真治

No.1 3-1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 物価高から 町民のくらしを 守る対策につい て問う。	あらゆる商品の物価高が長期化しており、物価 高から町民のくらしを守る施策が急務であるが、 今補正はゼロ円。国の物価高対策は一時しのぎの 対策ばかりで物価高対策として効果が高く国民 が強く望む消費税減税はやる気なし。今年度中の 物価高対策として、国の重点支援地方交付金を活 用して毎年実施している町民ひとり当たり1万 円分の商品券配布をはじめとした物価高対策を 実施すべきではないか。	町長
2. 「非核3原則」見直しの検 討について問 う。	国はである「核兵器をもたず、つくらず、もち こませず」の「非核3原則」を見直す検討が始ま っているが、香美町の「核兵器廃絶・平和の町宣 言に関する決議」に真っ向から反するではない か。非核3原則の見直しの検討ではなく、唯一の 被爆国の責任として、原水爆禁止条約に参加・批 准することこそ検討すべきではないか。	町長

第156回 12月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 谷口 真治

No.1 3-2

質問項目	質問事項	質問の相手
3. 子育て支援のさらなる拡充について問う。	国は、小学校給食費の無償化、国保税の均等割軽減制度を高校生年代までの拡充の方針を示している。子育て支援のさらなる拡充として、令和8年度予算で3歳児未満の保育料無償化を検討すべきではないか。	町長
4. 香住区小学校等第2次再編について問う。	柴山幼小、長井幼小、余部幼小と香住統合幼小の第2次香住区小学校等再編が令和8年4月から始まるが、統合に向けて閉校する各学区の取り組み状況（閉校式、閉校記念事業）と閉校後の施設の利活用について問う。地域の宝の拠点である小学校の利活用で地域の活性を図るべきではないか。	教育長 町長